



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

秋田県 秋田市立河辺中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和5年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名 : JOCオリンピック教室
- 主催 : 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援 : スポーツ庁
- 協力 : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象 : 中学2年生
- 講師 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間 : 2023年4月～2024年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数 : 80校程度
- 実施方法 : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック**：馬淵 智子 先生 (ソフトボール) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日**：2023年6月2日(金)

■ **ク ラ ス**：2年A組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・北京2008大会にソフトボール競技で出場したと自己紹介。オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について説明。運動の時間は、全力で取り組む、協力する、ルールを守ることの3つを約束してほしい。ソフトボールでトスパッティングを実演し、希望生徒がボールをキャッチする。準備体操の後は「体を使ったじゃんけん」を行い、足だけではなく手もじゃんけん、顔も表情を変えて元気に明るくやろうと話し、勝つルールと負けるルールの両方を実施。

○主運動等



・準備運動は、ソフトボールを1人1球ずつ持ち、頭上にボールを投げてキャッチ、頭上に投げている間に1回転や拍手をする。
 ・主運動は「ボールパスリレー」を実施(全4回)。3チームに分かれ、2人組になりソフトボールをパスしながら走る。折り返し地点のコーンを2人共にタッチをして戻る。3回目以降はサイドステップで走りながらボールを転がすルールへ変更。途中作戦タイムを設け、どうすれば上手くボールをコントロールしながら走れるか等話し合う。



・運動の時間を振り返り、ボールパスリレーでは、勝ちたい気持ちだけでなく、どうすればお互いの長所を活かし、短所をカバーできるかをしっかり話し合うことで結果を良くすることができる。3つの約束を守り、一生懸命取り組む姿は素晴らしい。オリンピックが大事にすることは、皆と同じだ。座学の時間は、自身のオリンピックに出場するまでの経験を話し、オリンピックバリューが皆の身近にあることを知り、今後に活かせる授業にしたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：馬淵 智子 先生 (ソフトボール) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日**：2023年6月2日(金)

■ **ク ラ ス**：2年A組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・自身の競技映像を見ながら自己紹介。ソフトボール競技は自身が出場した北京2008大会後、東京2020大会まで競技種目から外れていた。競技復活を願い、アメリカチームと一緒に撮った写真を披露。オリンピックシンボルの5つの輪は5大陸を表わし、白を含めた6色で世界の国旗が描ける。一度は夢を諦め引退することを考えたが、もう一度頑張ろうと思ったのは、周りで支えてくれる人がいたお陰だ。自身がオリンピックから学んだことや、オリンピックバリューが皆の身近にあることを伝えたい。

○グループワーク 等



発問：普段の生活の中でオリンピックバリューに当てはまることはどんなことか考えよう。

発表：エクセレンス：「試合に全力で臨む」「ポイトレを頑張ってコンクールで金賞を受賞」「テストでベストを尽くす」等

フレンドシップ：「仲間とコミュニケーションをとる」「言葉で伝える」「挨拶をし合う」「合唱祭で団結する」等

リスペクト：「卒業する先輩のためによい卒業式を準備する」「家族や先生に感謝」「礼儀正しくする」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューについて理解をすると、決してオリンピックだけがオリンピックバリューを実践しているのではなく、皆も日常生活の中で、実践できていることを知ってほしい。オリンピックバリューを毎日少しでも意識しながら生活することで、人との関わり方も少しずつ変わってくる。これから皆は勉強や部活動だけではなく、様々なことに挑戦する際には、オリンピックバリューを大事にして、夢に向かって頑張ってもらいたいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年A組



■記念品贈呈

・2年A組



■修了証贈呈

